



食育だより



2023年11月

河内中学校



感謝していただきます

「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをきちんとしていますか？野菜や魚、肉など、食べ物はみんな命があるものでした。その命を食べてわたしたちは生きています。感謝の心を込めて食事のあいさつをしましょう。



～読書月間～ 図書コラボ給食



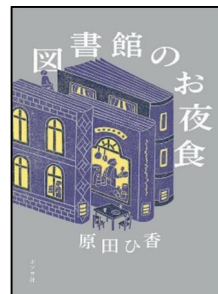
図書館司書の中川先生との共同企画です



読書週間にちなみ、今月は本に出てくる料理が給食に登場します。本の中にはおいしそうな料理がたくさん出てきます。それを想像するのは読書の楽しさ、実際に目で見て味わえるのは食事(給食)の楽しさです。



今年選んだ本は「図書館のお夜食」です。主人公の樋口乙葉は、東京の郊外にある「夜の図書館」で働くことになりました。そこは普通の図書館とは異なり、開館時間が夕方 7 時～12 時までで、亡くなった作家の蔵書が集められた、本の博物館のような図書館でした。2階の一角に食堂があり、まかない飯を食べることができます。まかないメニューは、小説やエッセイの中に入っている料理を再現したものでした。さて、どんな料理が出てくるのでしょうか……



「図書館のお夜食」
原田 ひ香 著
ポプラ社

11月13日(月)
【ゆかりごはん
けんちん汁】

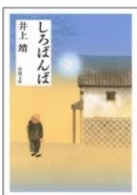
「田辺聖子の味三昧」
田辺聖子監修 講談社

田辺聖子は、おせいさんの愛称で親しまれた作家で、食べることを人生の楽しみとしていました。

11月2日(木)
【しろばんばカレー】

「しろばんば」
井上靖著 新潮社

著者自身の
幼少時代
を描いた
作品です。



11月6日(月)
【わかめと卵の
かきたま汁】

「森瑤子の料理手帖」
森瑤子著 講談社

森瑤子は、東京芸大卒のバイオリニストでした。30歳を過ぎて恋愛小説を書き始めてからは、売れっ子の小説家となりました。

11月10日(金)
【にんじんごはん】

「向田邦子の手料理」
向田和子著 講談社

向田邦子は、料理好きの作家でした。「ままや」という小料理屋を自ら作ったほどでした。

11月21日(火)
【セルフチキンサンド】

「赤毛のアン」
L.M.モンゴメリ
松本郁子訳
文春文庫



「トマト給食」が始まります

宇都宮のトマトは、甘さと酸味のバランスが良いのが特徴で、1年を通して栽培されています。トマトの作付面積は、県内1位です。トマトを使用した給食を通して児童生徒のみなさんに地域への理解を深め、郷土への愛情を育てたいと、今月から毎月1回「トマト給食の日」が設けられました。

今月のトマト給食は、トマト料理コンクール優秀賞の「おつかれサマー！トマたま丼」です。



11月15日は「おにぎりの日」です。忘れずにおにぎりを持参しましょう。

